様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅばの保存及び継承
主な取組	「しまくとぅばアーカイブ」の作成		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・言葉が生活又は文化芸術の基層をなし、文化そのものであることに鑑み、「しまくとぅばアーカイブ」の作成等により、消滅の危機にある各地域のしまくとぅばの保存及び継承に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄文化の基層である「しまくとぅば」を次世代へ継承するため、音声資料や映像資料等が十分とは言えない地域のしまくとぅばについて、保存及び継承に資するものとして、しまくとぅばのアーカイブ化の取組を行う。	県	しまくとぅばによる文法調査票の収集		
		しまくとぅばによる文法調査票の収集地域数（累計）		
		44地域	88地域（132地域）	88地域（220地域）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	しまくとぅばアーカイブ事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	16,496	20,361

予算事業名	しまくとぅばアーカイブ事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	18,629

令和6年度活動内容

文法調査票を収集し、教材を作成した。また、教科書に掲載されている歌、文学的文章の収録や自然談話の収録に加え、昨年度実施分を公開した。

令和7年度活動計画

文法調査票を収集し、教材を作成する。また、教科書に掲載されている歌、文学的文章の収録や自然談話の収録に加え、昨年度実施分を公開する。

活動指標名	しまくとぅばによる文法調査票の収集地域数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		文法調査票90地域、教材の作成１セット、歌50曲、文学的文章50編、自然談話２話を収集・収録した。
	44地域	88地域（132地域）	90地域（222地域）	88地域（220地域）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値88地域に対し、当該45地域から文法調査票を２種類ずつ、計90冊収集しており、目標を達成しているため順調と判定する。
ほかの教材や歌、文学的文章についても計画どおり収集し、しまくとぅばの保存に資するものとなった。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○話者が減少しつつある現状においては、今後も調査を進める上で収集予定地域の変更等が必要となってくる場合が想定されるため、目標値を達成できるよう県、受託者、対象地域の話者と連携を密にする。	○当初計画していた調査地点において、現地調査が困難となった地域もあったが、新たに調査地点を選定し、調査担当者や対象地域の話者との調整を行った結果、目標を達成することができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
③ 他地域等との比較（内部要因）	話者が減少しつつある現状では、言語学者を中心に地域との信頼関係に基づき、早期に詳細な調査が求められる。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
② 連携の強化・改善	予定していた調査地点での調査が困難となった場合にも、早急に新たな調査地点を選定し、調査担当者や対象地域の話者と綿密な調査を行うことにより、円滑な事業の実施が見込まれる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅばの保存及び継承
主な取組	しまくとぅばに関する各種啓発の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・言葉が生活又は文化芸術の基層をなし、文化そのものであることに鑑み、「しまくとぅばアーカイブ」の作成等により、消滅の危機にある各地域のしまくとぅばの保存及び継承に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
しまくとぅば県民大会、しまくとぅば普及功労者表彰、関連普及イベント開催によりしまくとぅばの周知・啓発を行う。	県	しまくとぅば県民大会、しまくとぅば功労者表彰、関連普及イベント開催による周知・啓発		
		しまくとぅば功労者表彰者数（累計）		
		10個人・団体	10個人・団体（20個人・団体）	10個人・団体（30個人・団体）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,062	71,073

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	67,907

令和6年度活動内容

しまくとぅば県民大会を開催し、「しまくとぅば普及功労者表彰」、「U-18島唄者コンテスト」、「しまくとぅば語やびら大会」等を実施した。

令和7年度活動計画

しまくとぅば県民大会を開催し、「しまくとぅば普及功労者表彰」、「U-18島唄者コンテスト」、「しまくとぅば語やびら大会」等を実施する。

活動指標名	しまくとぅば功労者表彰者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		地域における「しまくとぅば」の普及に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ、しまくとぅば普及功労者表彰を令和６年９月15日の県民大会（第一部）で実施した。
	10個人・団体	８個人・２団体（18個人・２団体）	８個人・１団体（26個人、３団体）	10個人・団体（30個人・団体）	90.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値10個人・団体に対し、功労者表彰数は、個人8名・団体１団体であり、90%の達成率であることから「順調」と判定する。
また、「しまくとぅば」の普及に尽力し、功績が顕著な方を表彰することにより、県民のしまくとぅば使用を促進させる効果が期待できる。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
しまくとぅば県民大会への来場者数をより増やすため、ステージ構成を工夫するとともに、各種SNSを活用した告知を積極的に行い、情報発信の強化を図る。	令和６年度はしまくとぅば県民大会のステージ構成を工夫するとともに、SNS等を活用した告知を行ったことなどにより、来場者数は増加しており、広く県民にしまくとぅばの取組に関して周知することができた。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	令和６年度のしまくとぅば県民大会の来場者数は、1,180名で令和５年度（680名）より増加してしている。引き続き来場者数の増加に向け県民に興味関心を持ってもらう取組を実施する。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	さらにしまくとぅば県民大会の来場者数を増加するため、広報活動を工夫したり、関連イベントを実施するなど県民に興味関心を持ってもらう取組を進める。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施
主な取組	しまくとぅば講師養成講座の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・しまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
しまくとぅばの普及継承を一層促進させるため、しまくとぅば普及の中核的機能を狙う「しまくとぅば普及センター」において、各地域における講師養成講座を実施する。	県	しまくとぅば講師養成講座の実施		
		しまくとぅば講師養成講座の実施回数（累計）		
		60回	60回（120回）	60回（180回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,062	71,073

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	67,907

令和6年度活動内容

５月から７月にかけて宮古後期講座を実施した。
また、８月から11月にかけて本島で沖縄中南部前期講座実施した。

令和7年度活動計画

４月から８月にかけて沖縄中南部後期講座を実施する。
また、９月から12月にかけて八重山前期講座を実施する。

活動指標名	しまくとぅば講師養成講座の実施回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		しまくとぅば普及センターにおいて、宮古後期講座及び沖縄中南部前期講座を実施した。
	58回	51回（109回）	58回（167回）	60回（180回）	96.7%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値60回に対し、講座の実施回数は、宮古後期講座31回、沖縄中南部前期講座27回の計58回であり、達成率は96.7%となっていることから「順調」と判定する。
そのうち、合格者は56名でており、今後のしまくとぅばの普及継承の一翼を担う人材の育成に寄与した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
オンライン聴講者数の増加を図るため、情報発信を強化し、しまくとぅば講師養成講座の認知度向上につなげる。	新たに沖縄中南部前期講座を実施したところ、オンライン受講生は30名となり、宮古後期講座のオンライン受講生（６名）より増加した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	令和６年度のしまくとぅば県民意識調査によると、「しまくとぅば講師養成講座」の認知度は、6.0%であり、令和５年度（5.6%）から増加している。引き続き認知度の向上に取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	新たに講師養成講座を実施する際には、講座認定者の実績を紹介するとともに幅広く関係機関に周知するなど、効果的に広報活動を行い、講座の認知度を上げる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施
主な取組	しまくとぅば出前講座の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・しまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
しまくとぅばの普及継承を一層促進させるため、しまくとぅば普及の中核的機能を狙う「しまくとぅば普及センター」において、学校等への講座を実施する。	県	しまくとぅば講師等の人材活用のコーディネート		
		しまくとぅば関連講座への講師等派遣件数（累計）		
		15件	15件（30件）	15件（45件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,062	71,073

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	67,907

令和6年度活動内容

人材バンクを活用し、しまくとぅば関連講座へ講師を派遣する派遣事業を９件、モデル事業８件の計17件を実施した。

令和7年度活動計画

人材バンクを活用し、しまくとぅば関連講座へ講師を派遣する派遣事業を10件、モデル事業５件を実施する。

活動指標名	しまくとぅば関連講座への講師等派遣件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		しまくとぅば普及センターにおいて、人材バンクを活用し、小学校のクラブ活動や、しまくとぅば関連講座等に講師を派遣するとともに、しまくとぅばの普及継承に寄与するモデル事業を実施した。
	20件	23件（43件）	17件（60件）	15件（45件）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

しまくとぅば関連講座への講師派遣が９件、しまくとぅばの普及継承に寄与するモデル事業を目標以上の８件実施し、合計17件の実績となっており、目標の15件を上回っていることから、「順調」と判断する。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
「しまくとぅば講師派遣」のさらなる認知度向上を図るため、講師養成講座を修了した講師による実践講座の回数を増やし、効率的なしまくとぅば普及継承を展開する。	講師養成講座を修了した講師を活用した親子向けの講座を実施するなど、「しまくとぅば講師派遣」の認知向上を図った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	令和６年度のしまくとぅば県民意識調査によると、「しまくとぅば講師の派遣」の認知度は2.7%と低いため、認知度の向上に取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
④ 創意工夫による取組の改善（合理化・効率化）	「しまくとぅば講師派遣」の認知度を上げるため、これまで実施した講師派遣実績やモデル事業の内容を取りまとめ、対応できる事例をHPで紹介する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施
主な取組	しまくとぅば検定の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・しまくとぅば普及の中核的機能を担う「しまくとぅば普及センター」を中心に、関係機関や関係団体と連携を図りながら、各地域のしまくとぅば養成講座や出前講座の実施に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
しまくとぅばの普及継承を一層促進させるため、しまくとぅば普及の中核的機能を狙う「しまくとぅば普及センター」において、しまくとぅば検定を実施する。	県	しまくとぅば検定の実施		
		しまくとぅば検定受検者数（累計）		
		1,000人	1,000人（2,000人）	1,000人（3,000人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,062	71,073

令和6年度活動内容

「しまくとぅば上級者層」を対象に会場検定を実施するとともに、「しまくとぅば初心者層」を対象に、「Eラーニング」を実施した。

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	67,907

令和7年度活動計画

「しまくとぅば上級者層」を対象に会場検定を実施するとともに、「しまくとぅば初心者層」を対象に、「Eラーニング」を実施する。

活動指標名	しまくとぅば検定受検者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		しまくとぅば普及センターにおいて、4級～6級に相当する上級者層向けに会場検定を実施した。あわせて７級～９級に相当する初心者層向けに３地域のしまくとぅばを学べるEラーニングを実施した。
	922人	474人（1,396人）	5,474人（6,870人）	1,000人（3,000人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和６年度から本格的にしまくとぅばＥラーニングを実施したことにより、目標値を大幅に超えており「順調」とする。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
Eラーニングを広く活用してもらうため、学習意欲を駆り立てる広報物を発行するなど、情報発信を強化する。	Ｅラーニングについては、当初、１か所の地域のみであったが、2カ所の地域を加え、３カ所の地域のしまくとぅばを学べるようにしており、その周知の際にはチラシなどの広報物を作成し、ＨＰでも情報発信を行ったところ、視聴者数が大幅に増えている。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和６年度のしまくとぅば県民意識調査によると、「しまくとぅば検定」の認知度は21.4%であり、令和５年度（20.8%）から増加している。ひ引き続き認知度向上に取り組む。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	Ｅラーニングで学べる地域を増やすとともに、周知のための普及啓発物を活用し、視聴者数を増加させる。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出
主な取組	普及に取り組む団体等への支援		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動への支援など、しまくとぅばの普及を推進するとともに、各地域でしまくとぅばの普及に取り組む団体や民間企業等への支援を通して、県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
各地域でしまくとぅばの普及に取り組む団体や民間企業等へ支援する。	県	民間団体へのしまくとぅば普及活動に関する補助		
		しまくとぅば普及促進事業費補助金の交付団体数（累計）		
		８団体	８団体（16団体）	８団体（24団体）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業			
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額	
一括交付金 （ソフト）	補助	72,062	74,197	

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業		
R7年度			
主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 （ソフト）	補助	67,907	

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
８団体へ補助を行った。	８団体への補助を予定している。

活動指標名	しまくとぅば普及促進事業費補助金の交付団体数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		しまくとぅば普及継承の取組に対する補助事業の公募を行ったところ、９団体の応募があった。 審査の結果、８団体が採択され、しまくとぅばの講座や公演、大会・コンテスト等の事業が展開された。
	8団体	8団体（16団体）	8団体（24団体）	８団体（24団体）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
目標値８団体に対し、しまくとぅばの普及効果が期待できる事業を応募９団体の中から８団体採択した。 採択された８団体の事業は、講座、公演、大会・コンテストなど多岐にわたり、幅広い年齢層が楽しめる内容で実施された。 多くの県民がしまくとぅばに親しむことができ、普及継承に寄与した。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
補助金交付決定後においても、積極的に経理上の留意点などを各団体へ周知し、各団体が補助事業を円滑に執行できるようサポートする。 補助の対象となる事業の取組例をより具体的にHP等で示し、事業の認知度向上を図る。	補助事業者との調整を密に行い、各団体が補助事業を円滑に執行することができた。 公募の際に事例を提示した。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
② 他の実施主体の状況（内部要因）	補助事業者は、事務作業そのものについても不慣れな団体が多く、補助事業制度そのものの理解が難しいことから、事業の執行の際には寄添い型の支援を実施する必要がある。
③ 他地域等との比較（内部要因）	県内団体で応募する団体や地域（中南部が主）に偏りがあり、特に離島からの応募を増やすための周知が必要。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
② 連携の強化・改善	補助金交付決定後は、各団体が補助事業を円滑に執行できるよう、経理上の留意点などを周知するなど丁寧なサポートを行う。
⑤ 情報発信等の強化・改善	補助事業に関する周知を図るため、離島などでしまくとぅばの取組を実施している普及団体等へ広報を行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	①各地域におけるしまくとぅばの保存・普及・継承の促進
			施策の小項目名	○県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出
主な取組	しまくとぅば普及センターによる相談業務の実施		対応する成果指標	しまくとぅばを挨拶程度以上使う人の割合
施策の方向	・小・中学校や高等学校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動への支援など、しまくとぅばの普及を推進するとともに、各地域でしまくとぅばの普及に取り組む団体や民間企業等への支援を通して、県民のしまくとぅばを聞く機会や話す機会の創出に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
しまくとぅば普及センターにおいて、しまくとぅばに関する総合窓口を設置し、実施する。	県	しまくとぅば普及センターによる情報提供、アドバイス		
		普及団体や民間企業等からの相談対応件数（累計）		
		120件	120件（240件）	120件（360件）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,062	74,197

予算事業名	しまくとぅば普及継承事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	67,907

令和6年度活動内容

しまくとぅば普及への意見・提案、人材派遣の依頼、しまくとぅばの表現に対する質問等の総合窓口として、幅広い主体・年齢層に対応した。

令和7年度活動計画

しまくとぅば普及への意見・提案、人材派遣の依頼、しまくとぅばの表現に対する質問等の総合窓口として、幅広い主体・年齢層に対応する。

活動指標名	普及団体や民間企業等からの相談対応件数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		しまくとぅば普及への意見・提案、県の施策に対する苦情、人材派遣の依頼、しまくとぅばの表現に対する質問等の総合窓口として、幅広い主体・年齢層に対応した。
	119件	164件（283件）	99件（382件）	120件（360件）	82.5%	概ね順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

相談対応件数は、目標にとどかなかったものの、82.5%の達成率となっており概ね順調と判断する。
しまくとぅば普及センターの認知度を上げる必要がある。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
総合窓口機能を広く活用してもらうため、「しまくとぅば普及センター」の取組活動をWEBサイトやSNSを活用し、積極的に発信する。	Webサイトにおいて、様々な情報発信を行うとともに、コンテンツを充実させたことにより、閲覧者数が増加した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑤ 県民ニーズの変化（外部環境の変化）	しまくとぅば普及センターへの相談については、県民のしまくとぅばへの関心度が表れているものと考えられる。 しまくとぅば普及センターの認知度向上に取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	県民のしまくとぅばへの関心を高めてもらうとともに、しまくとぅば普及センターの認知度を高めるため、Webサイトの充実を図るとともに、しまくとぅば県民大会などのイベントを活用した広報活動も行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施　策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の継承と発展
主な取組	国立劇場おきなわの伝統芸能県外公演		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄独自の多様で豊かな文化資源の発信のため、伝統芸能に関する県外公演・ワークショップ等を支援する。	県,国立劇場おきなわ	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数（累計）		
		1公演	1公演（2公演）	1公演（3公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	4,056	5,640

令和6年度活動内容

京都府において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信した。

予算事業名	伝統文化活性化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,318

令和7年度活動計画

神奈川県において組踊等沖縄伝統芸能を上演し、芸能を通して来場者に沖縄の魅力を発信し、沖縄観光のPRにも努める。

活動指標名	国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1公演	3公演（４公演）	1公演（５公演）	１公演（３公演）	100.0%	順調	京都府における公演や、ワークショップ（２回）を開催した。

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
国立劇場おきなわ運営財団による伝統芸能の県外公演を目標通りの１公演実施できたので、進捗状況は順調となった。公演前のワークショップや、組踊の歴史解説、楽器・小道具を紹介し、沖縄の伝統芸能に関心のある層へ効果的なアプローチが出来た。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○県外でのワークショップや公演を通して沖縄伝統芸能の魅力を発信する。	県外におけるワークショップや公演を通じて、沖縄伝統芸能の魅力を発信し、認知度の向上に努めた。

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	伝統芸能を上演し、来場者に沖縄の魅力を発信するとともに、誘客につなげるため、観光コンテンツをＰＲする必要があるが、公演の開催時期が６月であったことから、観光分野との連携が弱くなった。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	令和７年度は開催時期を年度の後半に見直し、観光コンテンツの紹介も強化する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施　策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の継承と発展
主な取組	伝統芸能の県外公演		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化の発信力の強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成を目的として、県外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	県外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による県外公演の開催数（累計）		
		1公演	1公演（2公演）	1公演（3公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	地域の文化芸術振興事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	4,000	8,000

予算事業名	地域の文化芸術振興事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	6,300

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
令和６年度は、県外公演を２公演実施した。	令和７年度は、県外公演を１公演予定している。

活動指標名	文化芸術団体による県外公演の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年度は予定通り事業を実施し京都市及び金沢市で各１公演を開催した。
	1公演	1公演（２公演）	2公演（４公演）	１公演（３公演）	100.0%	順調	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和６年度は、計画数１公演に対し活動実績が２公演となり、達成割合が100%となった。開催地を文化芸術に理解の深い京都市と金沢市とすることで、京都公演278人、金沢公演1,089人の集客につながった。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。 ○　開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。 ○　メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。	○広報の手段を強化のため、金沢公演では現地スタッフを手配し、開催地における周知広報活動に力を入れたところ、多くの集客につながった。 ○開催方法を工夫として、金沢公演では、石川県の工芸品である能登上布で仕立てた紅型の衣装の解説や、「ティーサージ」の解説など、現地の方に関心を持ってもらえる演出を加えた。 ○メディアの活用として、開催地のマスコミに対するプレスリリースを行い、現地の新聞に取り上げてもらうことで実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信した。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
① 県の制度、執行体制（内部要因）	出演者、スタッフアンケートを行ったところ、委託料の予算が少額であるため、出演者や公演内容が限られてしまうとの意見があった。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
① 執行体制の改善	公演内容や出演者について、スタッフ等と事前に綿密な調整を行う等により、限られた予算の範囲内でも内容の充実化を図る。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施　策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の継承と発展
主な取組	伝統芸能の海外公演		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・組踊、三線を伴奏楽器とする三線音楽、琉球舞踊その他の伝統芸能等を県民向けに披露する機会の創出や、広く国内外に向けた鑑賞機会の提供と情報発信を通して、伝統芸能の継承と発展に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
文化の発信力強化、文化交流の拡大、芸術文化のさらなる振興、人材の育成等を目的として、海外で沖縄の芸能を発信する公演を実施する県内の文化芸術団体を派遣する。	県	海外への鑑賞機会提供等による伝統芸能の継承と発展		
		文化芸術団体による海外公演の開催数（累計）		
		―	1公演	1公演（2公演）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	―		
主な財源	実施方法	R5年度決算額	R6年度決算見込額
―	―	14,000	

予算事業名	―	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
―	―	0

様式１（主な取組）

令和6年度活動内容			
令和6年度は他事業に統合した。			
予算事業名	琉球歴史文化芸術興隆事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	14,000	43,573

令和7年度活動計画		
令和７年度は他事業で実施予定。		
予算事業名	伝統文化活性化事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	72,318

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
ロサンゼルスにおいて沖縄の文化芸能に係るイベントを開催予定であったが、現地の山火事の影響により中止となった。	海外における沖縄の伝統文化の認知度向上及び理解を促進する取組を行い、文化芸術関係者の活動機会を確保する。

活動指標名	文化芸術団体による海外公演の開催数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		令和６年度は、現地の方々が参加できるコンテスト形式の舞台とし、交流推進課が実施する「県人会サミット」と連携する形で開催予定であったが、自然災害の影響により中止となった。
	0公演	2公演	0公演（2公演）	１公演（２公演）	0.0%	未着手	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ロサンゼルスでの開催を予定していたが、現地の山火事の影響により中止となったため、未着手となった。しかし、令和５年度に２公演実施していることから、累計公演数は目標値を達成している。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　公演周知の期間、周知の方法等広報の手段を強化し、集客につなげる。 ○　開催地における各種イベントとのコラボ等開催方法を工夫することで、集客につなげる。 ○　メディアを活用し、実際に会場に来場した観客以外へも沖縄文化芸能を発信する。	○交流推進課が実施する「県人会サミット」と連携する形で開催することで相乗効果を図った。

３　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	自然災害の影響により中止となった。次年度、仕切り直しとしたが、次年度開催に向けた関係者調整など対応を検討する余地があった。

４　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	現地の事情により中止となった場合でも、次年度以降の公演が継続できるよう、関係者と連携をとっていく。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施　策	②伝統芸能の継承・発展
			施策の小項目名	○伝統芸能の世代継承
主な取組	伝統芸能公演への支援		対応する成果指標	県の支援した伝統芸能関係団体が実施したイベント（公演等）の参加者数
施策の方向	・各地域の伝統芸能の担い手となる若手実演家等の公演機会の充実を図り、本県の伝統芸能の世代継承に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
伝統芸能公演への支援	県,文化振興会,国立劇場おきなわ	伝統芸能の鑑賞機会の提供、若手実演家の育成及び次世代を担う子供達が沖縄の伝統芸能に触れる機会の創出		
		かりゆし芸能公演への入場者数（累計）		
		1,683人	1,683人（3,366人）	1,683人（5,049人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄県文化振興事業等推進費		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	補助	54,577	54,577

予算事業名	沖縄県文化振興事業等推進費	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	補助	54,577

令和6年度活動内容

国立劇場おきなわや各市町村と連携し、かりゆし芸能公演を19公演実施した。

令和7年度活動計画

国立劇場おきなわや各市町村と連携し、かりゆし芸能公演を20公演実施する。

活動指標名	かりゆし芸能公演への入場者数（累計）					進捗状況	活動概要
			R6年度				県民及び来県者に伝統芸能の鑑賞機会を提供するとともに若手実演家の育成を図るため、若手実演家等の公演及び国の重要無形文化財保持者の公演を実施する。
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1,737人	1,414人（3,151人）	1,194人（4,345人）	1,683人（5,049人）	70.9%	やや遅れ	

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
県内各地の会場で実施する移動かりゆし公演や子どもたちが中心となって演じる子ども×伝統芸能公演等の充実のため、国立劇場おきなわでの公演回数を減らしたことで、活動指標としている国立劇場おきなわでの公演への入場者数は目標を下回った。 一方、国立劇場おきなわでの公演以外の取組の拡充により、かりゆし芸能公演全体の入場者数は増加傾向であり、伝統芸能の鑑賞機会を提供するとともに若手実演家の育成が図られている。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
公演実施団体による広報活動だけではなく、文化振興会においてもＳＮＳ等による広報活動を図り、観光客を含めた誘客の強化を図る。	文化振興会において、ＳＮＳの広報活動を積極的に実施し、誘客の強化を図った。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	国立劇場おきなわでの公演への入場者が減少しており、特に次世代を担う子供達が沖縄の伝統芸能に触れる機会の減少が懸念される。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑤ 情報発信等の強化・改善	SNS等を活用した広報を強化すると共に、子供達が沖縄の伝統芸能に触れる機会の創出を図るため、小中学生を対象としたワークショップ等を実施する。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施　策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○地域や島の伝統行事の伝承・復元等
主な取組	地域伝統芸能を集めた公演		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・地域や島によっては、伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が失われつつあることから、シンポジウムや公演等を通して伝統行事等を見直すきっかけをつくり、地域や島の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
普段、祭事等でしか披露されていない地域の伝統芸能等を国立劇場おきなわに集め、舞台公演として県民へ披露する「特選　沖縄の伝統芸能」を開催する。	県	県内各地で受け継がれる伝統文化の情報収集・発信・提供		
		国立劇場おきなわにおける伝統芸能を集めた公演数、１公演あたりの取り扱い地域数（累計）		
		１公演、５地域	１公演、５地域（２公演、10地域）	１公演、５地域（３公演、15地域）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	－

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	6,050	6,050

予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	6,075

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
地域の伝統芸能等を集めた舞台公演を開催した。	地域の伝統芸能等を集めた舞台公演を開催する。

活動指標名	国立劇場おきなわにおける伝統芸能を集めた公演数、１公演あたりの取り扱い地域数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	1公演	1公演（２公演）	1公演（３公演）	１公演	100.0%	順調	地域の祭等で披露される伝統芸能５団体を集め国立劇場おきなわで「第11回特選　沖縄の伝統芸能」として開催した。

活動指標名	国立劇場おきなわにおける伝統芸能を集めた公演数、１公演あたりの取り扱い地域数（累計）		R6年度		
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B
	5地域	5地域（10地域）	5地域（15地域）	５地域	100.0%

様式１（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
「第11回特撰　沖縄の伝統芸能」を国立劇場おきなわで開催し、県内各地域の伝統芸能・伝統行事の促進等につながった。	
（２）これまでの改善案の反映状況	
令和6年度の取組改善案	反映状況
○　引き続き、地域文化の普及継承に携わる各団体の連携を強化するため、情報交換の場を提供し、今後の地域文化の普及継承に対する機運醸成を図る必要がある。 ○　引き続き、各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めた地域の伝統芸能等を集めた公演を開催する。	情報交換の場として、座談会を開催し、地域の団体の取組について紹介してもらった。他団体の参加もあり、意見交換を行う事ができた。また、地域の芸能をその基層をなす地域の「しまくとぅば」で伝えることの重要さについても、意識啓発を図った。

3　取組の検証（Check）

類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	来場者アンケートの結果回答者の約8割が50代以上となっており、40代以下の若い層に興味や関心を持ってもらう必要がある。

4　取組の改善案（Action）

類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	次世代への継承の課題に積極的に取組む団体の掘り起こしを行う。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施　策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○地域や島の伝統行事の伝承・復元等
主な取組	地域や島でのシンポジウムや座談会の開催		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・地域や島によっては、伝統行事をはじめ伝統的な生活文化が失われつつあることから、シンポジウムや公演等を通して伝統行事等を見直すきっかけをつくり、地域や島の伝統行事の伝承・復元等に向けた取組を推進します。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
各地域の伝統行事・芸能等をテーマに文化講演（シンポジウム・座談会等）を開催する。	県	県内各地で受け継がれる伝統文化の情報収集・発信・提供		
		地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数（累計）		
		3回	3回（6回）	3回（9回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
県単等	委託	6,050	6,050

予算事業名	地域伝統文化の継承・発信支援事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	6,075

令和6年度活動内容

県内各地域の伝統行事、伝統芸能、しまくとぅば等の普及・継承についての座談会を１回開催するとともに、映像制作を行い、ＷＥＢ配信を行った。

令和7年度活動計画

次世代への伝統文化の継承の取組に力を入れている地域の団体を招き、座談会開催した。座談会は映像制作を行い、ＷＥＢ配信を同時に行った。

活動指標名	地域や離島でのシンポジウム・座談会の開催回数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	2回	1回（３回）	1回（4回）	３回（９回）	33.3%	大幅遅れ	地域の祭等で披露される伝統芸能５団体を集め国立劇場おきなわで「第10回特選　沖縄の伝統芸能」として開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

地域における旧正月の伝統行事や伝統芸能を取り上げ、文化の継承をテーマに座談会を開催した。年々予算額が減額されており、座談会の回数を減らしているが、youtubeを活用したweb配信を行うなど、内容の充実を図った。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　各地域の特色・違いを再発見し愛着を持ってもらうため、文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウム・座談会を開催する。 ○　シンポジウム・座談会のＷＥＢ配信を行い、当日会場で見ることができない方にも閲覧できるようにするとともに、過去のアーカイブを蓄積するなど情報発信を強化する。	○文化の基層であり、地域ごとに特色がある「しまくとぅば」を絡めたシンポジウム・座談会を開催し、世代間の意見交換を行った。伝統芸能への理解が深まり、若い世代の新たな意欲の創出につながった。 ○ＷＥＢ配信にあわせ、過去のアーカイブを蓄積するなど情報発信を強化した。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	次世代への継承が大きな課題であり、効果的な手段が何か、結論が出ない状況である。取組を続けることが、消滅に歯止めをかけているのが現状である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	継承の問題に取組む各団体の事例を聞き取り、事例紹介として広く情報発信をする。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施 策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信
主な取組	琉球料理伝承人の育成・フォローアップ		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・本県の文化や歴史の中で培われてきた伝統的な食文化である琉球料理や琉球泡盛については、琉球料理伝承人の養成やユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成を図り、独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄の伝統的な食文化の担い手となる人材（琉球料理伝承人）の育成講座・フォローアップ講座を実施する。	県	沖縄の伝統的な食文化の担い手となる人材（琉球料理伝承人）の育成講座・フォローアップ講座の実施		
		講座参加人数（累計）		
		70人	70人（140人）	70人（210人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

様式１（主な取組）

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	19,688	17,073

予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	21,348

令和6年度活動内容

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座等を実施した。

令和7年度活動計画

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、フォローアップ講座等を実施する。

活動指標名	講座参加人数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、担い手育成講座及びフォローアップ講座を実施した。
	53人	175人（228人）	169人（397人）	70人（210人）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

新たな担い手15人を育成するとともに、既存の琉球料理伝承人延べ154人に対し知識及び技能向上を図るフォローアップ講座を実施し、次世代の担い手を育成することができた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　令和６年度については、既存の琉球料理伝承人に対するフォローアップ講座のほか、担い手育成講座を実施し、新たな担い手の育成にも取り組む。	既存の琉球料理伝承人に対しフォローアップ講座を実施し、琉球料理伝承人全体の知識・技術の底上げを図ったとともに、琉球料理担い手育成講座を実施し、新たな担い手の育成にも取り組んだ。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図るため、琉球料理伝承人を指導できる者の育成にも取り組む必要がある。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑦ 取組の時期・対象の改善	令和７年度については、既存の琉球料理伝承人に対するフォローアップ講座のほか、講師養成講座を実施し、指導者の育成にも取り組む。

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施　策	③伝統文化の保存・継承・発展
			施策の小項目名	○独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信
主な取組	伝統的食文化のユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成		対応する成果指標	市町村文化協会会員数
施策の方向	・本県の文化や歴史の中で培われてきた伝統的な食文化である琉球料理や琉球泡盛については、琉球料理伝承人の養成やユネスコ無形文化遺産登録に向けた県民の気運醸成を図り、独特な食文化の保存・普及・継承及び魅力の発信に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
沖縄の伝統的な食文化に関する情報発信・普及啓発のため、琉球料理伝承人出前講座を実施する。	県	沖縄の伝統的な食文化に関する情報発信・普及啓発		
		琉球料理伝承人出前講座の参加者数（累計）		
		100人	100人（200人）	100人（300人）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	―

2　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業		
主な財源	実施方法	R5年度決算額	R6年度決算見込額
一括交付金（ソフト）	委託	19,688	17,073

予算事業名	沖縄食文化保存普及継承事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金（ソフト）	補助	21,348

様式１（主な取組）

令和6年度活動内容	令和7年度活動計画
沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施した。	沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、琉球料理伝承人出前講座を実施する。

活動指標名	琉球料理伝承人出前講座の参加者数（累計）		R6年度			進捗状況	活動概要
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を図り次世代へ継承するため、地域住民、食関連事業者、修学旅行関係者及び学校関係者向けに琉球料理伝承人出前講座を実施した。
	145人	97人（242人）	94人（336人）	100人（300人）	94.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

琉球料理伝承人出前講座を通じ、地域住民、食関連事業者、修学旅行関係者及び学校関係者に琉球料理の情報を発信し、沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承が図られた。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○　沖縄の伝統的な食文化について、伝承人活動を強化するなどこれまで以上にＰＲ活動に尽力する。	地域住民、食関連事業者、修学旅行関係者及び学校関係者等、複数のジャンルの団体に出前講座を実施することにより、幅広く情報発信を行った。

3　取組の検証（Check）	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	琉球料理伝承人の活動母体となる団体の自走化を促すため、組織的な活動のノウハウの蓄積及び事務局機能の強化を図る必要がある。

4　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑧ その他	琉球料理伝承人出前講座について、これまで委託事業として実施してきたが、令和７年度は補助事業として実施し、組織的な活動のノウハウの蓄積等を図る。

様式１（主な取組）

様式１（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	1-(4)-ア	沖縄文化の継承・発展・普及	施　策	④文化財の保存・活用
			施策の小項目名	○貴重な文化遺産の後世への継承
主な取組	戦災等により失われた琉球王国時代の文化遺産の調査研究		対応する成果指標	文化財の指定件数（累計）
施策の方向	・文化財の新たな指定に向けた調査、米軍基地内を含む埋蔵文化財の各種調査と保存・活用、在外文化財の調査、戦災文化財の復元等を進め、貴重な文化遺産の後世への継承に取り組みます。			

1　取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
琉球王国時代の文化遺産等から得られる学術的知見や科学分析等の情報を集積し、王国時代の手わざを現代の最高水準の手わざで復元する。また、模造復元を通して世界に誇る沖縄の手わざの力を内外へ発信し、琉球王国文化の体系化を図るとともに、文化観光・研究拠点としての沖縄をアピールする。	県	復元製作基本設計		試作品製作
		調査研究等の監修者委員会の開催回数（累計）		
		8回	16回（24回）	16回（40回）

担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部文化振興課　【　098-866-2768　】	関連URL	—

２　取組の状況（Do）

（1）取組の進捗状況　　（単位：千円）

予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業		
主な財源	実施方法	R5年度 決算額	R6年度 決算見込額
一括交付金 （ソフト）	委託	18,173	73,870

予算事業名	琉球王国文化遺産集積・再興事業	
R7年度		
主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 （ソフト）	委託	91,803

令和6年度活動内容

９分野の監修者会議を実施し、３５点の模造復元製作（科学分析、材料調達、試作等）を行い、ＳＮＳ等により本事業について情報発信等を行った。

令和7年度活動計画

模造復元業務では科学分析、材料調達、試作、本製作等を行う。発信業務ではＳＮＳ等を活用し試作等で得られた新知見を発信する。

活動指標名	調査研究等の監修者委員会の開催回数（累計）					進捗状況	活動概要
			R6年度				
実績値	R4年度	R5年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		戦災等によって失われた琉球王国の文化遺産に係る模造復元品製作と発信業務の９分野の監修者会議を実施し、復元製作業務では科学分析、材料調達、試作等を行った。発信業務ではＳＮＳ等により情報発信等を行った。
	18回	18回（36回）	18回（54回）	16回（40回）	100.0%	順調	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

８分野の模造復元品の製作と発信業務１分野（合計９分野）の監修者会議を18回開催し、有識者からの意見等を反映し、科学分析や材料調達等を行った。

（２）これまでの改善案の反映状況

令和6年度の取組改善案	反映状況
○科学分析や試作等を行いながら、原材料の検討や確保、入手が難しい場合は代替材の使用等を監修委員の監修を受けながら検討する。 ○模造復元製作が始まるため、ＳＮＳ等を用いた継続的な情報発信する。また、その運用方法について検討・工夫する。	○科学分析を行い復元の根拠となる情報を整理し、監修委員の監修のもと材料調達、試作等を行った。 ○SNSを立ち上げ、事業の愛称とロゴを作成し、令和６年度中に行った科学分析等の情報発信等を行った。

様式１（主な取組）

３　取組の検証（Check）	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	燃料高騰に留意した県外・離島調査および製作者との調整が必要である。
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和６年度に立ち上げたSNSを用いた製作工程等の発信の工夫が必要である。

４　取組の改善案（Action）	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	県外や離島に在住の製作者との調整等が多くなるため、綿密に連携し、計画的に調整する。
⑤ 情報発信等の強化・改善	模造復元の製作工程を広く紹介するため、コンテンツ作りを進める。